

# 東海経済レポート

## （2017 年 6 月）

～企業部門、家計部門ともに回復の動きを強めている～

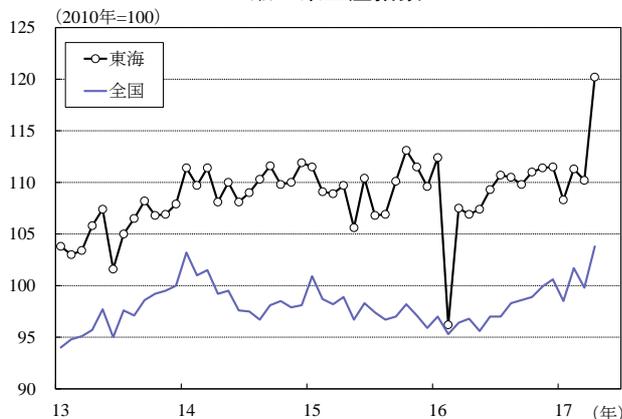
### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は回復の動きを強めている。企業部門では、輸出と設備投資が増勢を維持しているうえ、生産水準も足元では一段の上昇となった。家計部門も、引き締まった雇用環境の下、自動車販売や小売売上高などが堅調さを維持している。
  - ▶ 生産は、4 月の鉱工業生産指数が前月比+9.1%と 2 ヶ月ぶりに上昇し、リーマン・ショック後の最高水準を更新。主力の輸送機械が同+16.3%、電子部品・デバイスが同+15.1%と大幅に上昇するなど、主要業種の生産は総じて上向き。
  - ▶ 設備投資は、大企業の 1-3 月期の投資額が前年比+8.0%と 10 四半期連続の増加。製造業は 3 四半期連続で減少となったものの、非製造業が 4 四半期連続プラスとなり全体を牽引。先行指標とされる金属工作機械の 4 月の国内受注額は前年比+17.6%と 2 ヶ月ぶりに増加。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、4 月に前年比+4.8%と 3 ヶ月連続で増加。相手国別では、中国向けが 3 ヶ月連続で 2 桁の伸びとなったほか、米国向けや EU 向け、アジア向けなども増加基調が継続。品目別では、自動車部品が 6 ヶ月連続で前年比 2 桁増と好調なほか、一般機械、電気機器もプラス基調を維持。3 月にマイナスであった自動車、工作機械も 4 月は増加となった。
  - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。4 月の有効求人倍率は、愛知県が 1.82 倍と 2008 年 5 月以来となる高水準へ上昇。岐阜県は 1.80 倍へ、三重県は 1.54 倍へそれぞれ上昇し、各県におけるバブル崩壊以降の最高水準を更新。
  - ▶ 個人消費は、4 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+1.2%と、2 ヶ月連続で増加。業態別では、3 月に 15 ヶ月ぶりの前年比増となった百貨店が 4 月は再びマイナスとなった一方、スーパーは 5 ヶ月ぶりにプラスへ転じた。また、4 月の新車販売台数は同+8.6%と、10 ヶ月連続の増加となった。
  - ▶ 住宅着工は、4 月に年率換算で 8.0 万戸と前年比+6.1%増加し、2 ヶ月ぶりに前年比プラスとなった。分譲マンションが 4 ヶ月連続で前年比 2 桁減と下押し要因となったものの、持家が 4 ヶ月ぶりに増加に転じたほか、貸家、戸建て分譲もプラスを維持し、全体を押し上げた。

### 【生産①】

4月の鉱工業生産指数は前月比+9.1%と2ヵ月ぶりに上昇。2008年5月以来となる高水準に上昇。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、輸送機械の前月比+16.3%、電子部品・デバイスの同+15.1%を中心に、総じて好調に推移。

業種別の鉱工業生産(東海)

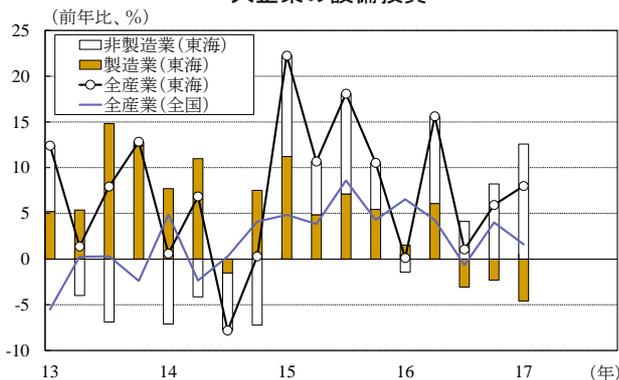


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

1-3月期の大企業の設備投資は、前年比+8.0%と10四半期連続で増加。非製造業の2桁増が牽引。

大企業の設備投資

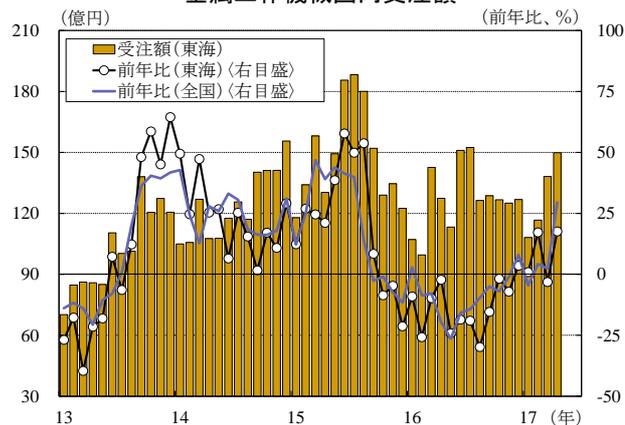


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は4月に前年比+17.6%と、2ヵ月ぶりにプラス転化。

金属工作機械国内受注額

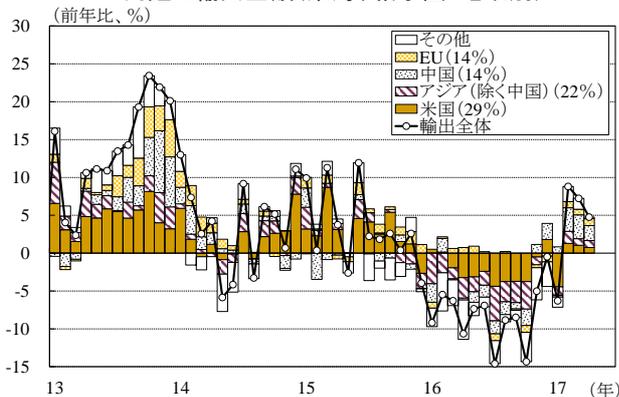


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

4月の輸出額(円ベース)は、前年比+4.8%と3ヵ月連続で増加。主要地域向けは総じて増勢を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

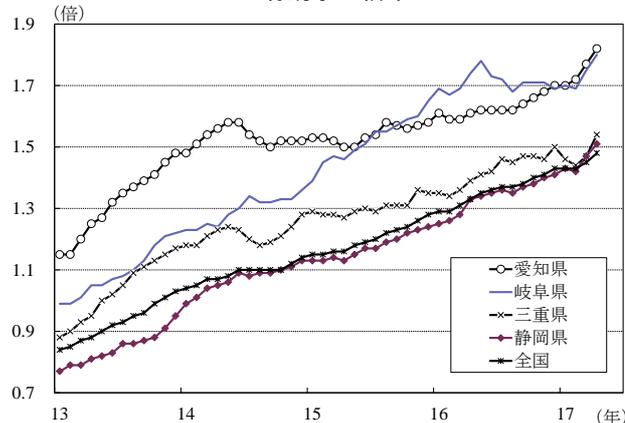


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

4月の有効求人倍率は4県揃って上昇。岐阜県、三重県、静岡県はバブル後の最高水準を更新。

有効求人倍率

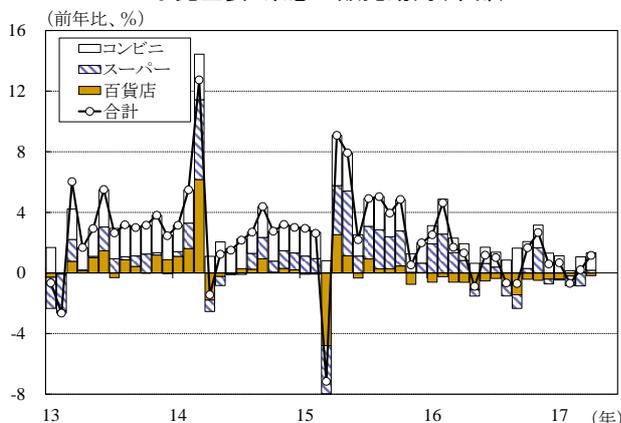


(注)『有効求人倍率』は、「有効求人数」を「有効求職者数」で除したもの。  
(資料)厚生労働省統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

4月の小売主要3業態の販売は前年比+1.2%と2ヵ月連続で増加。業態別ではスーパーがプラス転化。

小売主要3業態の販売動向(中部)

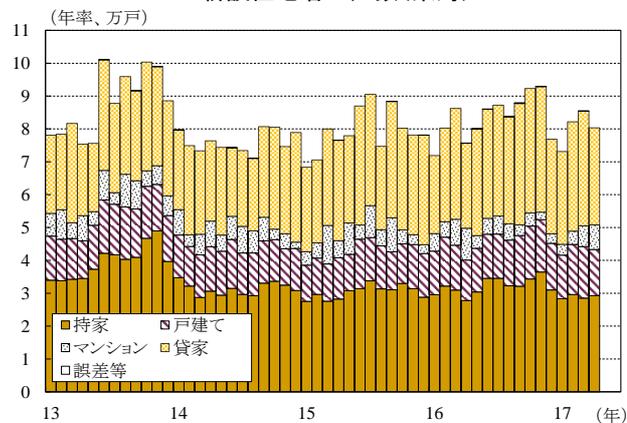


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

4月の住宅着工戸数は年率換算で8.0万户と、前年比+6.1%。分譲マンション以外が揃って増加。

新設住宅着工戸数(東海)

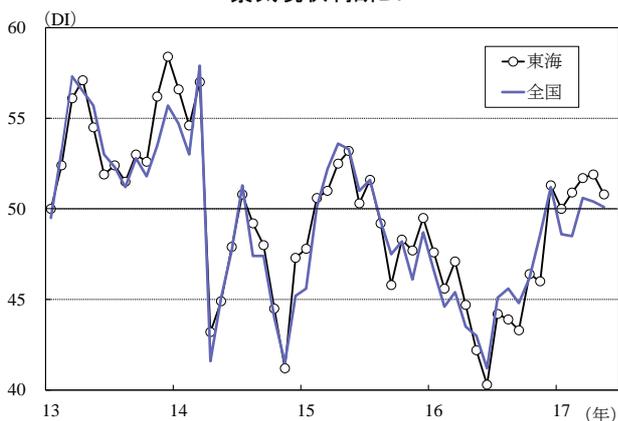


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

5月の景気現状判断DIは50.8と、4ヵ月ぶりに低下。好不調分かれ目の50及び全国を上回る水準は維持。

景気現状判断DI

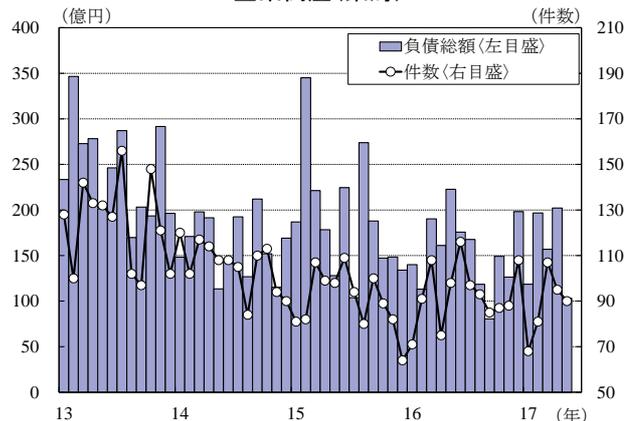


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

5月の企業倒産件数は90件で前年比▲8.2%、負債総額は同▲53.7%と、件数・負債総額ともに減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、米国の原油在庫増加や供給増加懸念を背景に上値が重く、1バレル45ドル前後で推移。

原油価格

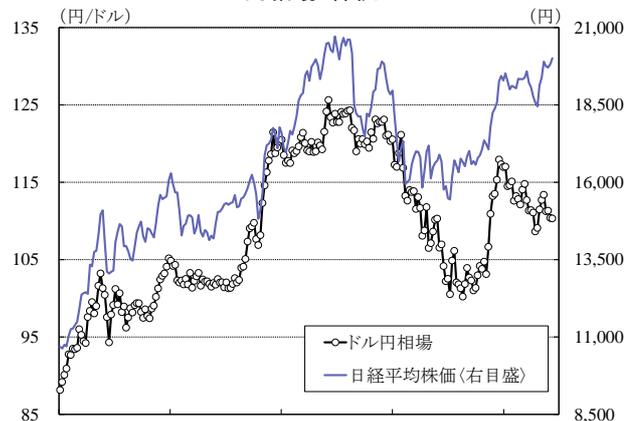


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

ロシア疑惑を背景とした米国政治への不透明感等から円相場は小幅円高方向。株価上昇も一服。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。